

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者	連絡先	2626
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	高齢者生きがい対策事業				
予算上の事務事業名	生きがい農園運営費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11220	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市市民農園の設置及び管理運営要綱 市民農園運営協議会規約					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	第2期相模原市高齢者保健福祉計画		高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、生きがいを持ち、安心して生活を継続できる高齢社会の形成		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
土に親しみ、作物を育て収穫する喜びを味わうことで高齢者の生きがいを高めるとともに、仲間づくりを進める。				60歳以上の市民	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
実施方法	往復ハガキで耕作希望農園を高齢者福祉課へ申込み。 高齢者福祉課で集計・抽選し耕作者を決定、耕作期間中に各自の区画にて作物の育成をする。				
耕作面積	1人1区画 10㎡				
耕作期間	4月から翌々年の1月までの22ヶ月				
耕作地	地権者から無償で6年間の使用貸借契約で借り上げ、当該地の固・都税を非課税とする。				
利用管理料	4000円/22ヶ月				
6 関連・類似事業や他市の状況					
市民農園 (コミュニティ農園、レクリエーション農園)					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	880	4,268	3,688	5,416	4,976
一般財源	880	2,296	2,200	3,476	3,476
受益者負担金	0	1,972	1,488	1,940	1,500
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,970	1,995	1,995	1,995	1,995
事業コスト合計	2,850	6,263	5,683	7,411	6,971
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	いきがい農園運営費			対象名称 と単位	1区画の運営費 (千円)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	880	4,268	3,688	5,416	4,976
対象数	973	958	961	920	920
単位あたり経費(円)	904	4,455	3,838	5,887	5,409
前年度比		4.93	0.86	1.53	0.92

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	区画の利用率 (%)	指標式と指標の説明	利用区画数/全区画数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
目標達成度 (%)	105.3	105.3	105.3		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	応募率 (%)	指標式と指標の説明	応募者数/対象区画数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	148.5	140.2	125.8		
目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
目標達成度 (%)	156.3	147.6	132.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		健康で体を動かす意欲のある高齢者の生きがいをづくりを推進していくために、事業の維持を図る必要があると考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 耕うん整備内容の見直しと、利用管理料の見直しが考えられる。			14 課題として認識されたこと 民間を主体とした市民農園の整備・拡充を行っていく必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			